

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2010年6月13日現在

概況 オレゴン州の2010年6月13日に終る1週間の気象は、週の後半まで降雨を伴う低目の気温の気象であったが、6月11、12及び13日は乾燥した高温気象となった。Willamette Valleyの最高気温は週末に80~85度Fとなり、乾燥地帯のNC地区の最高気温は89度Fまで上がった。Willamette Valleyの1週間の降水量は0.20~1.50インチであり、NC地区では0.20~0.40インチであった。1週間の州平均農作業稼働日数は4.0日(前週:2.4日)となった。Topsoil及びSubsoilの土壌水分は、“Surplus”が減少し、“Adequate”が増加した。冬小麦の80%が出穂し、NC地区では一部が登熟期に入った。冬小麦の生殖生長は例年より遅れていた。春小麦は節間生長を略終了し、出穂を開始した。冬小麦の作柄は、天候の回復により前週より改善した。春小麦の作柄は前週より評価が落ちた。

土壌水分(*)

(%)	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	1	3	64	32
Last week	0	5	49	46
Subsoil	1	10	66	23
Last week	0	11	54	35

冬小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr. Average
Headed	80	75	94	94

冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	1	6	21	57	15
Last week	1	7	25	54	13

春小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	4	20	48	28
Last week	0	3	13	53	31

*) Source: National Agricultural Statistic Service, USDA-Oregon Field Office. 5-yr average means average of 2005,2006,2007,2008 and 2009 crop years

以上